

平成 29 年 10 月 23 日

報道関係各位

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長執行役員  
杉江 俊彦  
(コード：3099 東証第 1 部、福証)  
問合せ先 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当長  
滝口 一雄  
(TEL. 03-6205-6003)

## 当社子会社における会社分割及び株式譲渡の予定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社三越伊勢丹フードサービス（以下、IMFS）が、平成 30 年 3 月末日を目途として、会社分割（以下、本会社分割）により、IMFS が営むスーパーマーケット事業等を、当社が新たに設立する 100%子会社（以下、新会社）に承継させるとともに、新会社株式の 66%を株式会社丸の内キャピタル（以下、「丸の内キャピタル」）が管理・運営する丸の内キャピタル第二号投資事業有限責任組合に譲渡することを決議し、丸の内キャピタル第二号投資事業有限責任組合との間で株式譲渡契約（停止条件付）を本日付で締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本日の契約締結に至る経緯

- ・IMFS については、平成 23 年に旧株式会社クイーンズ伊勢丹（以下、「クイーンズ伊勢丹」、旧株式会社伊勢丹の食品関連子会社）と旧株式会社二幸（以下、「二幸」、旧株式会社三越の食品関連子会社）の経営統合を経て現在に至っております。
- ・クイーンズ伊勢丹については過去、積極的な出店拡大戦略を進めましたが、その後、競合との同質化に伴う競争激化等により、複数店舗の撤退を余儀なくされ、これに伴い業績が低迷いたしました。
- ・一方の二幸についてもギフト市場の縮小等により業績低迷していたことから、両社の統合により、IMFS として三越伊勢丹のグループ力を活かした業績改善に努めてまいりましたが、出店・リモデル関連コストやインフラ投資等が増加したことで収益が悪化し、近年においては抜本的な改革が必要な状況となっております。
- ・現在、当社グループは、将来の持続的な成長に向けて、「百貨店本業の再構築」「成長事業の選択と集中」に重点的に資源配分し、あわせてその実現のための「基盤構築」として 2017 年から 2018 年度にかけて、構造改革にスピードを持って取り組んでおります。
- ・これらの経緯を踏まえ IMFS については、本年度進めている自主再建策に加え、スーパーマーケット事業分野において改革の実績をもつ丸の内キャピタルとの資本・業務提携を通じた再生計画の実行が再生の早期実現に向けては最善であると判断するに至りました。

## 2. 新会社の概要

- (1) 社名：未定(店名は「Queen's Isetan」を継続)
- (2) 事業内容：スーパーマーケット事業(今年度中に閉鎖する店舗が発生する場合は該当店舗を除く)  
百貨店内食品販売事業(グループ内店舗で展開している生鮮等のショップ)  
外販事業(船橋・総和工場における主にギフト商材の製造、販売)  
ベンダー事業(グループ内店舗等に設置している自販機事業)

## 3. 連結業績に与える影響

- ・軽微となる見込みです。

### 【参 考】

#### ●三越伊勢丹フードサービスの概要

- (1) 社名：株式会社三越伊勢丹フードサービス
- (2) 所在地：東京都中央区豊海町3番16号豊海ビル
- (3) 代表者：代表取締役社長 田中 哲
- (4) 事業内容：スーパーマーケット・小売・専門業・食品製造・卸売り
- (5) 資本金：1億円
- (6) 株主：株式会社三越伊勢丹 100%
- (7) 売上高：49,761百万円(2016年度実績)

#### ●丸の内キャピタルの概要

- (1) 名称：株式会社丸の内キャピタル
- (2) 所在地：東京都千代田区丸の内3丁目1番1号国際ビル6階
- (3) 代表者：代表取締役社長 朝倉 陽保
- (4) 事業内容：投資事業有限責任組合財産の管理・運営及び助言業務
- (5) 資本金：2億5千万円
- (6) 株主：三菱商事株式会社 85.1%，三菱東京UFJ銀行 14.9%

【本件に関する報道関係の皆さまのお問い合わせ先】

三越伊勢丹ホールディングス 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当  
電話 (03) 6205-6003